

スマホ講習会用テキスト作成

スマホ画面キャプチャースクリーンショット編

2025/11/8

T.O_Takatuki

● 初めに

スマホ講座で使用するテキストを作成する場合、必ず登場するのがスマホ画面のスクリーンショット
しかし、スクリーンショットは基本操作で行う場合、電源ボタン+音量下ボタンの同時押し。
皆さんこれってストレス感じませんか、ちょっとでもタイミングを間違うと電源ボタン操作のみとなって
画面が消えたり、スクリーンショットの中に音量操作画面がスクリーンショットの画面内に映り込んだり
経験ありませんか
そこで今回スクリーンショットのもっと便利な方法を列挙しました。

列挙した中には、実機持ち合わせていないものもあり、ネット検索や AI で調べて実働させていないものもあり、また OS バージョンで対応しないこともありますので、そこを考慮の上参考にしてください

Android スマホでスクリーンショットを撮る方法

基本操作（ほとんどの機種で共通）

- ・ 電源ボタン+音量ダウンボタンを同時に短く押す
- 一瞬画面がフラッシュし、スクリーンショットが保存されます

 推奨

タスクボタン(履歴ボタン)画面から 3つのボタンの右端の  のボタンをタップ
対象アプリを中央に配置し「スクリーンショット」ボタンをタップ

→ ホーム画面などは撮れない、開いているアプリのみショットできる

✦ スクロールスクリーンショット(Android 12 以降)

- ・ 通常基本操作のスクショ後に「キャプチャ範囲を拡大」などのボタンが表示される
- ・ 長いページ全体を 1 枚に収めることが可能

👉 機種独自のジェスチャーや機能

- ・ AQUOS : 「Clip Now」機能で画面端を長押しして撮影
- ・ Galaxy : 手のひらスワイプで撮影（設定で有効化が必要）
- ・ Pixel : クイック設定パネルから「スクリーンショット」ボタンを追加可能

📁 保存場所と編集

- ・ 撮影した画像は「ギャラリー」や「Google フォト」アプリの「スクリーンショット」フォルダに保存
- ・ 編集や共有もすぐ可能

i-Phone でスクリーンショットを撮る方法は

◇ 標準の方法（物理ボタン）

- **Face ID 搭載機種（iPhone X 以降）**
→「音量アップボタン」＋「サイドボタン」を同時に押す
- **Touch ID 搭載機種（ホームボタンあり）**
→「ホームボタン」＋「サイドボタン」を同時に押す

iPhone で「背面タップ」を使う

iOS 14 以降で「背面タップ」を使えば、iPhone の背面をすばやく 2 回または 3 回叩くだけで、コントロールセンターを開く、スクリーンショットを撮る、アクセシビリティ関連のアクションを呼び出すなど、さまざまなことができます。

「背面タップ」をオンにする

- 
- 推奨
1. iPhone 8 以降で[最新バージョンの iOS](#) を使っていることを確認します。
 2. 「設定」>「アクセシビリティ」>「タッチ」の順に選択し、「背面タップ」をタップします。
 3. 「ダブルタップ」または「トリプルタップ」をタップし、アクションを選択します。
 4. 背面をトントンとタップするだけで撮影可能

◇ AssistiveTouch(仮想ボタン)を使う

- 
- 推奨
- 「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→「AssistiveTouch」をオン
 - 「シングルタップ」などに「スクリーンショット」を割り当てる
 - 画面上の白い丸をタップするだけで撮影

◇ アクションボタン（iPhone 15 Pro 以降）

- 「設定」→「アクションボタン」→「ショートカット」→「スクリーンショット」を割り当て
- アクションボタンを押すだけで撮影

🖼️ 撮影後の操作

- 左下に表示されるサムネイルをタップすると編集可能
- 「写真」アプリの「スクリーンショット」アルバムに自動保存されます

Android タブレットでスクリーンショットを撮る方法

基本操作（ほとんどの Android タブレット 共通）

- 「電源ボタン」＋「音量下ボタン」を同時に 1 秒ほど押す
→ 画面が一瞬フラッシュし、シャッター音が鳴れば成功

📄 スクロールスクリーンショット(Android 12 以降)

- 
- 推奨
- 長いページを撮影したい場合：
 1. 通常のスクショを撮る
 2. 画面下部に表示される「キャプチャ範囲を拡大」などのボタンをタップ
 3. 保存したい範囲までスクロールして「保存」

⚙️ 電源ボタン長押しメニューから

- 一部機種では、電源ボタンを長押し → 「スクリーンショット」ボタンを選択で撮影可能

👉 メーカー独自のジェスチャー機能

- **Huawei**：ナックルジェスチャー（指の関節で画面をノック）で撮影

- **Lenovo**：クイック設定パネルに「スクリーンショット」ボタンあり
- **NEC LAVIE Tab**：基本操作と同じく「電源＋音量下」

🔊 ボタンを使わない方法（設定が必要）

- **通知バーやクイック設定パネル**に「スクリーンショット」ボタンを追加
- **音声操作**：「OK Google、スクリーンショットを撮って」と話しかける
- **アクセシビリティ設定**で仮想ボタンを使う

Android では、アクセシビリティ設定の「ユーザー補助機能メニュー」や「仮想ボタン（アクセシビリティボタン）」を使って、物理ボタンを使わずにスクリーンショットを撮ることができます。対応バージョンは主に Android 12 以降です。

📱 仮想ボタンでスクリーンショットを撮る方法（Android 12 以降）

☑ 手順

1. 設定アプリを開く
2. 「ユーザー補助」→「ユーザー補助機能メニュー」を選択
3. 「ユーザー補助機能メニューのショートカット」を ON にする
4. 画面右下に「人型アイコン（仮想ボタン）」が表示される
5. そのアイコンをタップ → メニューから「スクリーンショット」を選択

※この仮想ボタンは、画面下部のナビゲーションバーに表示され、どの画面からでも呼び出せます。

📱 対応バージョンと機種

方法	対応バージョン	備考
ユーザー補助機能メニュー	Android 12以降	Pixelなど標準Android機種で利用可能
アシスタントメニュー（Galaxy）	Android 9以降	Samsung Galaxy専用機能
ナビゲーションメニュー（HUAWEI）	Android 10以降	HUAWEI独自機能
サードパーティ製アプリ（Assistive Touchなど）	Android 5以降	すべての機種で利用可能（広告あり）

🔍 補足：Android 12 未満の場合

- アクセシビリティボタンはナビゲーションバー上に表示されます
- メニュー内容は同様で、「スクリーンショット」も選択可能
- 一部機種では「Android ユーザー補助設定ツール」のインストールが必要

📁 保存場所と編集

- 撮影画像は「ギャラリー」や「Google フォト」の「スクリーンショット」フォルダに保存
- 編集や共有もすぐ可能。Google フォトで文字入れ・トリミングも OK

ipad のスクリーンショットの方法

iPad でスクリーンショットを撮るには、モデルに応じてボタン操作や Apple Pencil など複数の方法があります。

基本のスクリーンショット方法

- ☒ ホームボタンなしの iPad (iPad Pro など)
 - 「トップボタン」+「音量アップボタン」を同時に押してすぐ離す
- ☒ ホームボタンありの iPad (iPad 第9世代など)
 - 「トップボタン」+「ホームボタン」を同時に押してすぐ離す

撮影後、画面左下にサムネイルが表示され、タップで編集、スワイプで閉じることができます。

 Apple Pencil で撮影 (対応モデルのみ)

- 画面の左下または右下から斜めにスワイプするとスクリーンショットが撮れます

 AssistiveTouch で撮影

- 「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→「AssistiveTouch」をオン
- 「シングルタップ」などに「スクリーンショット」を割り当てることで、

画面上のボタンで撮影可能



このようなボタンが画面上に現れる

 Siri で撮影

- Siri に「スクリーンショットを撮って」と話しかけるだけで撮影できます

 Safari で Web ページ全体を撮影 (iPadOS 17 以降)

- Safari でスクショ後、左下のサムネイルをタップ → 上部の「フルページ」を選択 → 「写真」または「ファイル」に保存

 保存先と編集

- 撮影したスクリーンショットは「写真」アプリの「スクリーンショット」アルバムに自動保存されます
- サムネイルをタップすると、マークアップ編集（文字入れ・トリミングなど）が可能です

もっと便利に

スマホのスクショの方法を述べてきましたが、テキストは最終、パソコン上で作成することがほとんどです。スクリーンショットの画像はスマホに保存され、それをパソコンに転送し、テキスト編集で使うことになるが、この作業をシートカットしスマホのスクショを直接パソコンの所定ホルダーに入ればより便利になります、その方法を解説します

スマホ画面をパソコン上に直接ミラーリング

Android スマホ編

スマホ画面を PC 上に表示と操作

Escrcpy

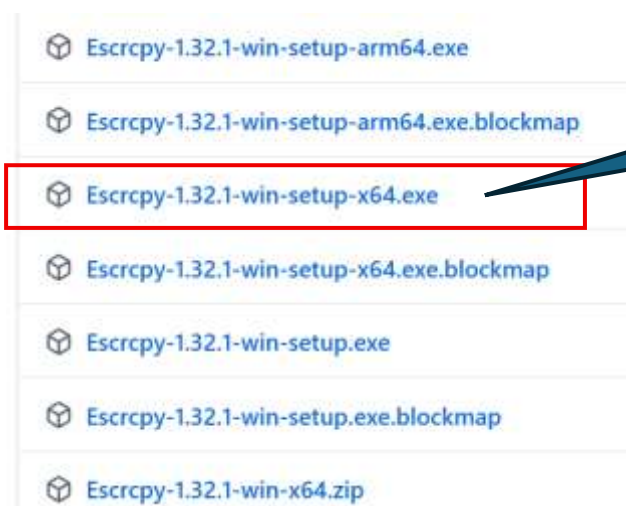
Escrcpy のインストール手順（Windows の場合）

1. Escrcpy のダウンロード

- o 公式サイトまたは信頼できるサイトから ZIP ファイルをダウンロードします。

o

[Escrcpy のダウンロードと使い方 - k 本的に無料ソフト・フリーソフト](#)



2. ZIP ファイルの解凍

- o ダウンロードした ZIP ファイルを解凍し、Escrcpy.exe を実行します

3. Android スマホの設定

- o Android スマホの「設定」アプリを開き、「開発者向けオプション」を有効にします
- o 「開発者向けオプション」内で「USB デバッグ」を ON にします

Android スマホの「開発者向けオプション」は、通常は隠れていて、特定の操作で表示させる必要があります。以下の手順で有効化できます：



開発者向けオプションの表示方法（Android 8 以降）

1. 「設定」アプリを開く（歯車アイコン）
2. 下へスクロールして「デバイス情報」または「端末情報」をタップ
3. 「ソフトウェア情報」をタップ（機種によってはこのステップが省略される場合あり）
4. 「ビルド番号」を連続で7回タップ
→「あと○ステップでデベロッパーになります」と表示されます
5. ロック解除（PIN やパターン）を求められたら入力
6. 「開発者向けオプションが有効になりました」と表示されます
7. 「設定」「システム」に戻り開発者向けオプションをタップ
8. 開発者オプションの使用が「ON」になっているか確認
9. 「USB」デバッグを「ON」にする

4. PC とスマホの接続

- o USB ケーブルで PC とスマホを接続します（充電専用はダメ）

5. Escrcpy の起動

- o Escrcpy.exe をダブルクリックして起動します
- o 初回接続時には、スマホに「この PC からの USB デバッグを許可しますか？」と表示されるので、「許可」をタップします
- o 数秒後、PC 画面にスマホ画面が表示されれば成功です。

6. **「タップの表示」

- o ON にすると、スマホのタップ箇所が表示され講習会などでは便利です

 タップ位置を表示する方法

☒ Android 側の設定手順

1. スマホの「設定」アプリを開く
 2. 「システム」→「開発者向けオプション」へ進む
 3. 下にスクロールして（かなり下の方です）
「タップを表示」（または「ポインターの位置を表示」）を ON にする
- 「タップを表示」：画面上に白い円が表示される
 - 「ポインターの位置」：座標や軌跡も表示される（やや情報量多め）

注意事項

スマホの開発者向けオプションは常時 ON の状態ではセキュリティー上問題です
使い終わったら必ず もとに戻すことを強く推奨します

「設定」「システム」「開発者向けオプション」を開き開発者向けオプションの使用
を OFF にする

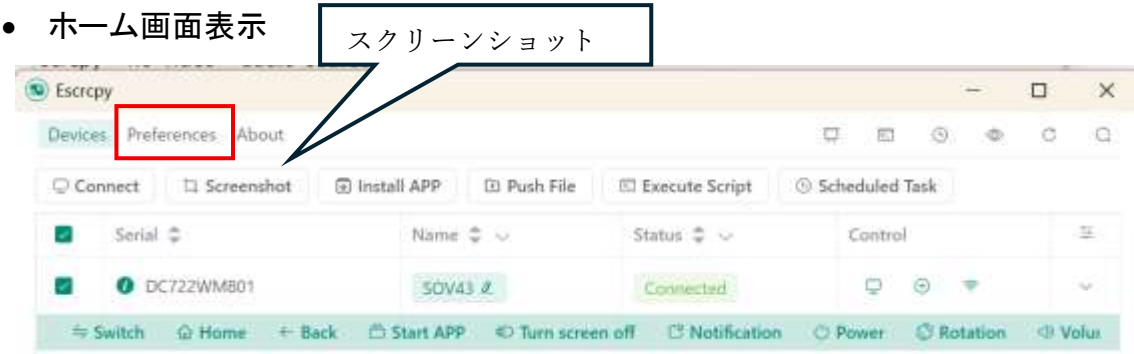
Escrcpy の使い方



PC からの操作方法（PC から直接スマホを操作できます）

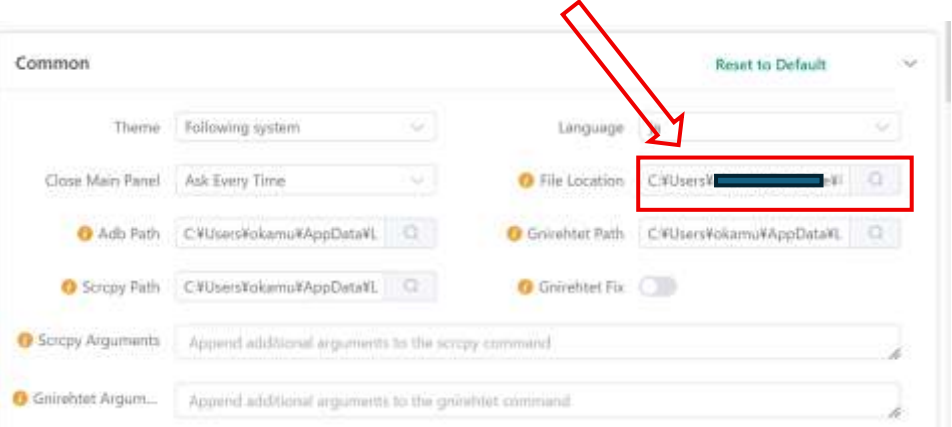
スマホ機能	PC の操作
タップ	左クリック
戻る	右クリック
スワイプ	ドラッグ
スクロール	マウスホイール

• ホーム画面表示



アプリ履歴	ホーム画面	戻る	アプリ起動	スクリーン Off	通知画面	電源ボタン	画面回転	音量調整
-------	-------	----	-------	-----------	------	-------	------	------

スクリーンショットをクリックするとスマホ画面が PC のホルダーの格納されます
格納されるフォルダーは初期状態は Disktop となっています、これを変更すに方法
上図赤枠 Preferences（設定）――>File Location を変更する



スマホ画面をパソコン上に直接ミラーリング

i-Phone 用

残念ながら WindowsOS で無料版で Escopy のような機能を持ったもの講習会等で
使えそうなものは見つけることが出来ていません

以上